

校長室より⑩

梅花プロジェクト・製品試作(1月26日) 製品作り(2月16・17日)



天龍中がメイン会場となる天龍梅花駅伝では、天龍中学校のブースも設けられ、梅クッキー、お茶チョコなどの生徒手作りの製品を販売し、来場者へのおもてなしをします。本校の畑で採れた小梅やお茶を使って、製品作りを行いました。衛生面に注意しながら、選手・来場者の皆さんが喜んでもらえるように心を込めて製品作りを行いました。

この梅花プロジェクトは平成22年度より、代々先輩より引き継がれ、現在まで続けられている地域貢献活動です。

森林レボリューション(林業体験学習)間伐材利用製品作り(2月3日)



10月に学校林より間伐した木材を使って製品作りを行いました。技術科で学んだことを活かして、コースターやペン立てを作製しました。自分の創りたいものを工夫しながら丁寧に作製する様子が見られました。木のぬくもりを感じる自分で作った製品を大事に使ってけるとよいですね。

たすきリレー(2月9日)



天龍中学校周辺の道路を使って、全校生徒が4チームに分かれたすきをつないで走る「たすきリレー」を行いました。天龍梅花駅伝で使用するピンク色のたすきを使わせてもらいました。

梅花駅伝本番で走る生徒も、3月に受験を控えている生徒もたすきを少しでも早く前につないで渡そうと必死で走る姿も見られました。全力を尽くして走る姿は、素敵ですね。

第52回天龍梅花駅伝(2月19日)



3年ぶりの天龍梅花駅伝は、雨の中でしたが招待チームの佐久長聖高駅伝部を含め85チームの熱い走りが見られました。その中で天龍中学校生徒3名と職員2名、小学生1名の天龍小中チームも地元一般参加チームとして参加し、見事3位入賞を果たしました。開会式では本校のチームの2学年生徒が、力強い選手宣誓を行いました。

また、会場ブースでは梅花プロジェクトの販売チームが、手作りの製品を販売しました。販売も雨の中大変でしたが、毎年人気があるようですぐに売り切れてしまいました。

駅伝で走った生徒も製品販売でおもてなしをした生徒も、地域や来場者へ貢献できた喜びと同時に楽しく参加できた喜びを感じていました。